



助け合い、笑い合える場所を

いくつになっても、住み慣れたこのまちで過ごしたい。という、高齢者の思いに応えようと、6月に「カフェ・ぼ〜れ」を立ち上げました。認知症や健康上の不安について一人で悩まずに、助け合い、笑い合える交流の場を目指しています。「ぼ〜れ」は、スワヒリ語で「ゆっくり優しく穏やかに」の意味。家族や専門職、地域の人にも参加していただき、みんなで高齢者を支える環境を作りたいです。

現在は毎月1回の開設ですが、参加者が増えてきたら、毎週やりたいですね。保健師や認知症の人と家族の会県支部代表だった経験を生かして、さまざまな相談にも乗っていますので、皆さん気軽にお越しください。

カフェ・ぼ〜れ

とき 毎月第二木曜の13時~15時
ところ カフェ花水木内(鹿島123)
参加費 100円
問い合わせや認知症についての相談は、代表の前川さん ☎ 53・3359 まで

キラリ！小浜人 Obama Star

まえかわ ひさこ
カフェ・ぼ〜れ 代表 前川 久子 さん (85 歳・水取三丁目)

尊敬する先生のように

現在、中学校で養護教諭として働いています。「保健室の先生」と言ったほうが分かりやすいですね。私が中学生だった頃の養護教諭が、生徒の誰からも信頼されている素敵な先生で、私もそんな存在になりたい、と思い、この職業を選びました。ご縁があって、今はその先生に養護教諭としての指導をしていただいています。

中学生は難しい年頃ですが、とてもかわいいですし、頼って保健室に来てくれるとやりがいを感じます。

今はまだ生徒と年齢が近く、友だち感覚で接している面もありますが、これから知識や経験を積んで、尊敬する先生に一步一步近づいていきたいですね。

▶次号は、
なかじま こうへい
中島 広平さん (26 歳・奈胡)
にバトンタッチします





野球を楽しめる環境を

野球連盟には、少年野球の学童部、一般の市民野球、審判部があり、約30人のメンバーで、地域での大会をはじめ、県大会や姉妹都市親善野球などを運営しています。

野球の魅力は、チームスポーツであること。個人の成績が良くても、必ず試合に勝てるとは限りません。お互いのミスを、みんなでカバーできるチームのほうが強いと思っています。

連盟では、子どもたちから一般の人まで、みんなが気持ちよく野球を楽しんでもらえるような環境づくりを目指しています。平成30年の福井国体では、小浜が軟式野球の会場になっているので、みんなで力を合わせて成功させたいですね。

イチ押し！トップアスリート Top Athlete

おくひがし ひさお
小浜市野球連盟 理事長 奥東久雄さん(45歳・山手三丁目)

偉人の詩を情感込めて

当会は全国的な詩吟の組織で、昭和51年に小浜に支部ができました。他の流派と違うところは、創始者が筑前琵琶出身で、節回しに筑前琵琶の影響が大きいところですね。小浜支部の会員は市内の60代以上の男女およそ20人で、第二支部では毎週木曜日に練習を行っています。

詩吟で大きな声を出すと、腹式呼吸ができるので、健康にとっても良いんです。また、幕末や古代中国といった歴史上の偉人の詩を、情感を込めて吟じることは味わい深いことです。詩の意味が分かるようになればなるほど面白いですよ。

興味のある人は、事務局の吉岡☎53・3713まで気軽にお問い合わせください。



練習の様子(国富公民館・7月30日)